



高藤 清美

つくばキャンパス長
経営情報学部長・教授

専門：組込みシステム、科学教育、高分子化学

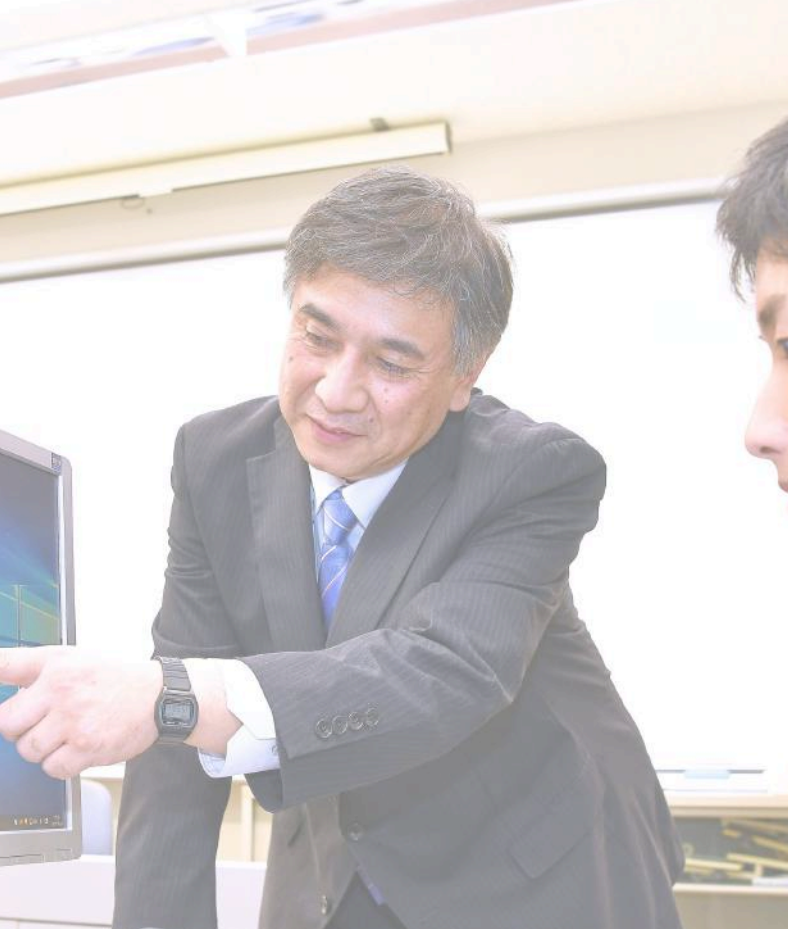
■専門分野について

科学教育におけるコンピュータの利活用をメインテーマとして研究に取り組んできました。私たちを取り巻く環境を理解するために、環境を構成するさまざまな要素を測定し、立体的に把握することが必要だと考え、その測定方法の開発や学校現場での利活用をめざした測定装置の開発に取り組んでいます。

最近取り組み始めたテーマとして、小中高校生を対象とした小型人型ロボットを活用したプログラミングに関する研究があります。実世界を意識したプログラミング学習の提案ができると考えています。

■担当授業について

プログラミングとIoTを中心に担当します。プログラミングの修得は「習うより慣れろ」という諺の通りです。日本国際学園大学ではBYOD（自分のPCで学ぶ）に取り組んでいるので、“いつ”でも“どこ”でもプログラミングに取り組むことができ、容易に慣れることができます。IoTは「モノのインターネット」と訳され、インターネットにモノ（家電製品、自動車、機器など）を接続し、利活用する技術のことで、授業では、さまざまなセンサや、アクチュエータを接続し、実体験を通して学びを深めます。



■受験生へ一言

近年の情報通信技術の発展は目を見張るものがあります。機材ではスマートフォンが代表例です。小型で高性能化が進み、世帯保有率は90.1%、個人所有率は77.3%（令和5年5月29日総務省発表）となりました。利用面ではAIの本格的な活用、特に人間の創作活動に近い動きをする生成AIの実用化と、利活用の推進が挙げられます。今後の人間らしい社会の発展には皆さんのような若く、新しい感性を持った人たちの活躍が必要です。日本国際学園大学でしっかりと学び、社会の発展に貢献できる人材になりましょう。